

平成30年北海道胆振東部地震による、緊急消防援助隊宮城県大隊の活動が終了しました。

《9月6日（木）》



宮城県大隊は、前沢 SA に全出動部隊が集結。その後、青森港に進出してフェリーに乗船し、22時30分に函館港へ向け出港しました。

《9月7日（金）》



2時15分に函館港<sup>ゆうふつ</sup>に到着後、勇払郡厚真町へ向け移動を開始。9時に宿営場所である厚真高等学校に到着し、活動を開始しました。



宮城県大隊は、厚真町幌内地区の救助活動を行い、塩釜地区消防の後方支援小隊は、活動現場までの人員輸送及び資機材搬送等を担当しました。

《 9月10日（月） 》

6時に北海道知事から宮城県大隊に対して、引揚決定が通知され、宮城県大隊の活動が終了しました。



宮城県大隊解団式（厚真高等学校にて）

解団式後、宿营地から室蘭港に移動してフェリーに乗船し、岩手県宮古港に向け出港しました。

《 9月11日（火） 》

宮古港を6時50分に出発し、13時15分に利府消防署に帰任しました。



利府消防署に帰任した車両



帰任式

※ 今回の派遣は、出勤日を含めて6日間、2隊、6名の隊員が被災地において活動しました。

・ **派遣期間**

平成30年9月6日（木）～9月11日（火）

・ **派遣小隊**

後方支援小隊 利府消防署 支援1  
消防本部 搬送1

※ なお、派遣期間中における管内の火災・救急等の災害出動体制については、応援時の消防業務継続計画に基づき対応いたしました。

今後とも、消防業務に対するご理解とご協力をお願いいたします。